

外務省ほかへの市長要請について

(在日米軍における新型コロナウイルスの検疫・隔離措置等の徹底について)

1. 日 時 令和2年(2020年)7月21日(火)14:00-18:00
2. 要 請 先 厚生労働省、防衛省、外務省
3. 要 請 者 横須賀市長、中野市長室特命参与
4. 要請の概要 要請内容については、別添のとおり(要請文PDF)

○厚生労働省(小島厚生労働大臣政務官が対応)

(厚労省発言要旨)

- ・当該民間宿泊施設は、検疫所が指定する待機施設として理解している。

(横須賀市長発言要旨)

- ・検疫所が指定する待機施設の定義はあるのか。また、現場を確認したのか。

(厚労省発言要旨)

- ・検疫所の定義も含め、現場の状況確認についても外務省と協議し今後検討していきたい。

○防衛省(河野防衛大臣が対応)

(横須賀市長発言要旨)

- ・横須賀市としては、本件について承知していなかった。
- ・町中の民間宿泊施設で感染者が出ることは、市民の不安につながるものであり問題であると考えます。
- ・これから日本への入国者の増加も予想されるので、実効性のある水際対策について、しっかり対応していただきたい。

(防衛省発言要旨)

- ・全国的にPCR検査が判明する前に民間宿泊施設等を待機場所として活用している例はあると承知している。
- ・その上で、政府としては、横須賀市とともに感染防止対策も含めた当該施設の現場確認をすることについて、米側とも調整しながら検討している。

○外務省（鈴木外務副大臣）

（外務省発言）

- ・米側による施設・区域外の民間宿泊施設の利用については、これまで政府として米側と調整してきたが、本件について、関係地元自治体へ十分な情報共有ができていなかったため、今後はしっかりと情報共有を図ってまいりたい。本件については、今後米側に対しても問題提起をしていきたい。
- ・当該宿泊施設の運用について、現場を見たわけではないので現状の把握が政府としてできていなかったため、今後状況を確認したい。

（横須賀市長発言）

- ・重ねての要請となるが、PCR検査の結果判明前に、横須賀市内の民間宿泊施設を待機場所として利用することはやめてほしい。今後も適時適切に情報提供に努めていただきたい。